

第7部

家計と暮らし



第1章 家計

- 140 消費者物価指数
- 142 10大費目別にみた消費支出の特徴
- 143 収入と支出のバランス
- 144 全国家計構造調査からみた消費の特徴



第2章 暮らし

- 145 住みやすさ
- 146 情報通信機器の保有及びインターネットの利用状況



第3章 協働

- 147 ボランティア活動の行動者率





消費者物価指数

消費者物価指数は、前年比3.5%増と3年連続の上昇

CHECK 2024(R6)年平均の奈良市消費者物価指数は、総合指数(2020年=100)で、前年比は3.5%と、3年連続で上昇しました。

2024(R6)年平均の奈良市消費者物価指数は、総合指数(2020年=100)で109.7と、前年比3.5%増となりました。

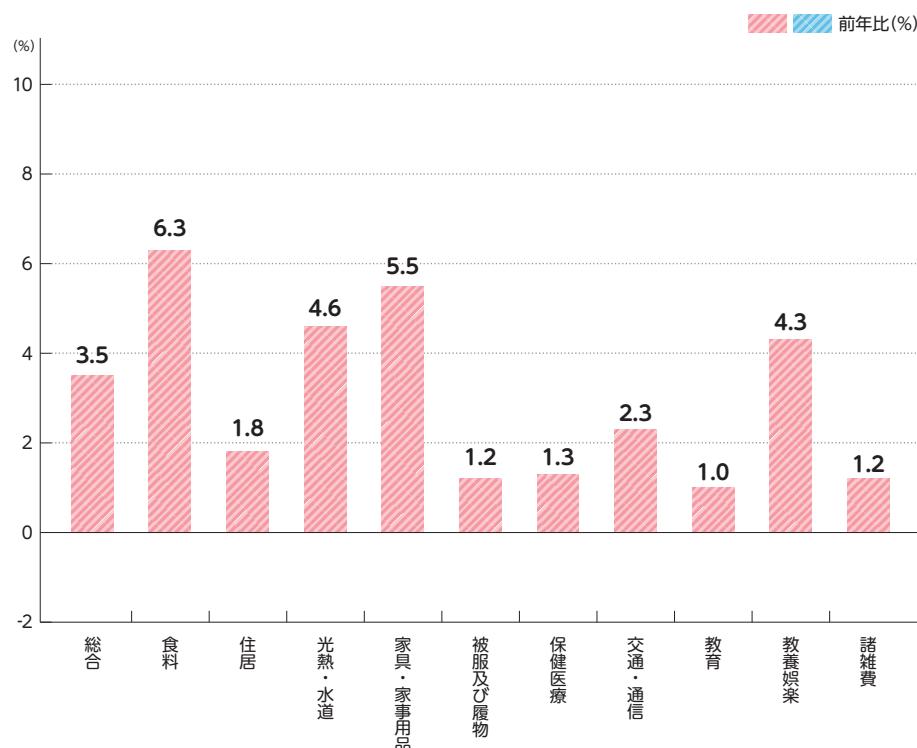
内訳をみると、食料の指数が特に上昇しました。

ここ10年間の総合指数の動きを前年比でみると、2015(H27)年は上昇、2016(H28)年は4年ぶりの下落となったものの、2017(H29)年から2019(R1)年は3年連続の上昇となりました。2020(R2)年は前年から横ばい、2021(R3)年は5年ぶりの下落となり、2022(R4)から2024(R6)年は3年連続の上昇となりました。

※小数第2位を四捨五入している。

2024(R6)年奈良市消費者物価指数10大費目増減表(前年比)

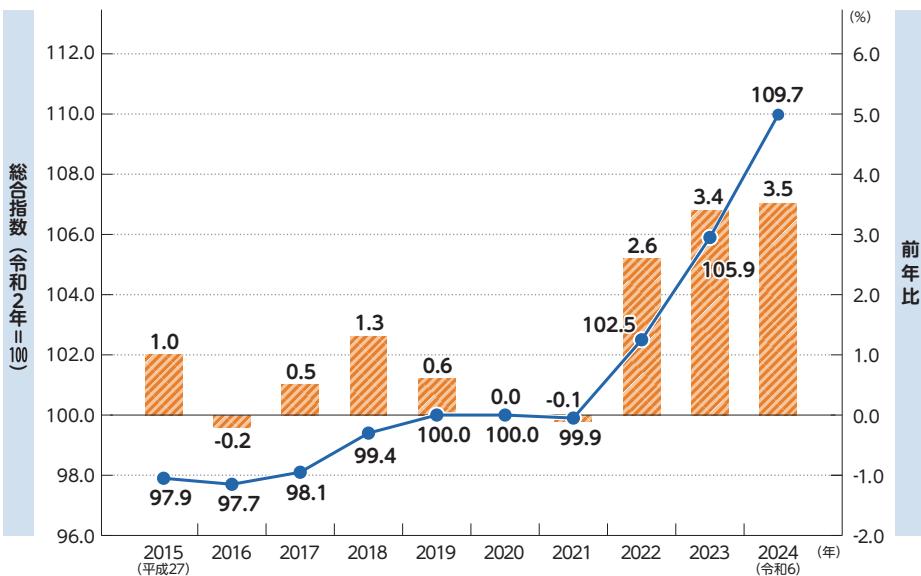
資料：総務省統計局「消費者物価指数」



奈良市消費者物価指数(総合)の年次別推移

資料: 総務省統計局「消費者物価指数」

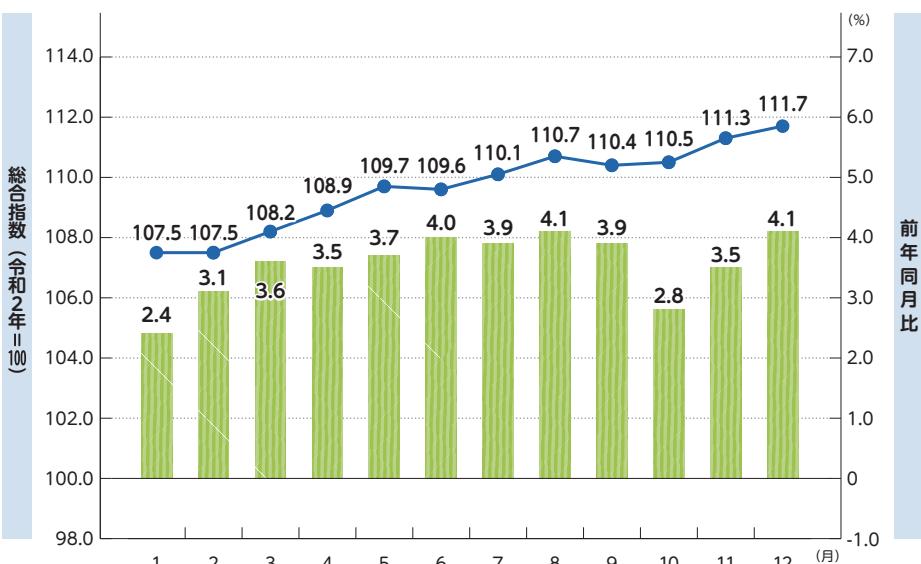
● 総合指数 ■ 前年比(%) (右目盛)



2024(R6)年奈良市消費者物価指数(総合)の月別推移

資料: 総務省統計局「消費者物価指数」

● 総合指数 ■ 前年同月比(%) (右目盛)





10大費目別にみた消費支出の特徴

奈良市の消費支出が、18年連続で全国を上回る

CHECK 2024(R6)年の奈良市における二人以上の世帯1世帯当たりの1ヶ月の平均消費支出は31万8,069円となりました。

全国の二人以上の世帯1世帯当たりの1ヶ月の平均消費支出は30万243円で、奈良市は2007(H19)年から18年連続で全国を上回りました。

また、奈良市の二人以上の世帯の消費支出は前年に比べ名目値は1.3%の増加、実質値は2.6%の減少となりました。

10大費目別にみた支出の特徴を1ヶ月の平均消費支出でみると、全国平均に比べ、住居、被服及び履物、教育、教養娯楽への支出割合が高くなっています。

- 消費支出…いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
- 名目値…実際に市場で取引きされている価格にもとづいて推計した値。
- 実質値…物価の変動の影響を取り除いた値。

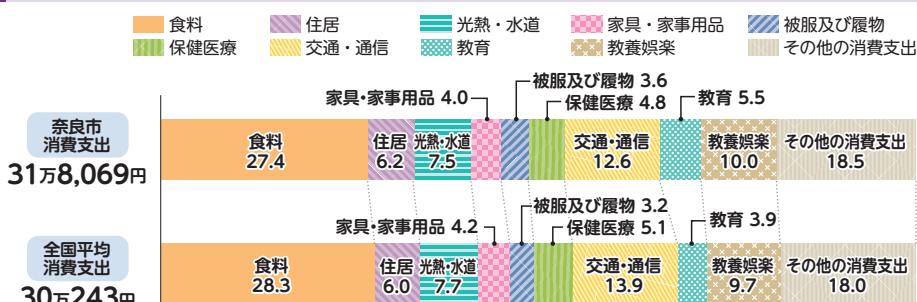
消費支出(奈良市・全国 二人以上の世帯)の推移

資料：総務省統計局「家計調査」



消費支出の10大費目別内訳(奈良市 二人以上の世帯) (2024(R6)年)

資料：総務省統計局「家計調査」





収入と支出のバランス

可処分所得から消費支出を引いた黒字は231,494円、黒字率は38.9%



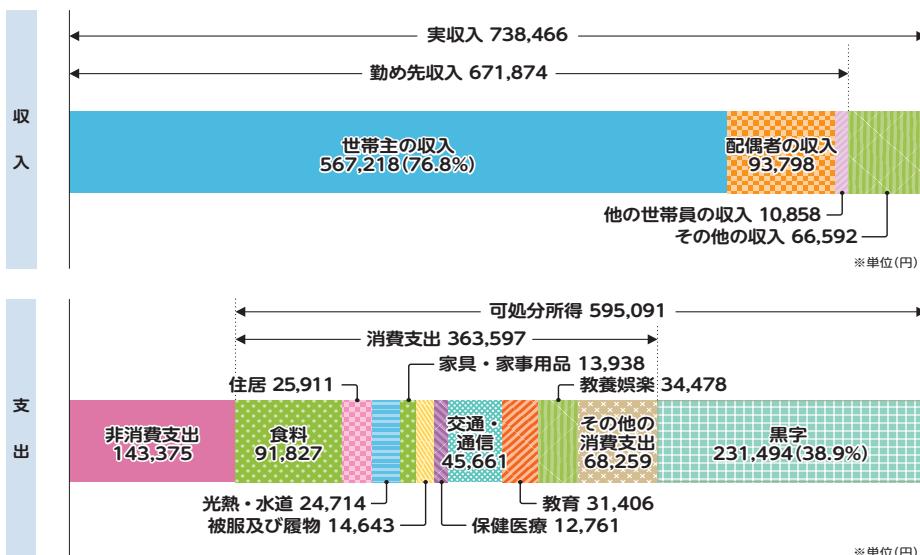
2024(R6)年の奈良市における二人以上の勤労者世帯1世帯当たりの1カ月の平均実収入の構成比をみると、世帯主の収入が56万7,218円で、実収入全体の76.8%となりました。可処分所得から消費支出を引いた黒字は、23万1,494円で黒字率は38.9%となっています。

前年と比べると、世帯主収入は56万7,218円で39,042円増加、配偶者収入も9万3,798円で125円増加し、世帯主収入は全国平均を上回っています。なお、実収入に占める世帯主収入の割合は76.8%(全国平均72.5%)でした。黒字は前年から27,454円増加し、23万1,494円に、黒字率(可処分所得に対する黒字)は前年36.9%から2.0ポイント増加し、38.9%になりました。

- 非消費支出…税金や社会保険料など原則として世帯の自由にならない支出。
- 可処分所得…「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。
- 黒字…「実収入」と「実支出(消費支出+非消費支出)」との差であり、マイナスの場合は赤字ということ。「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額と同じ。

収入と支出のバランス(奈良市 二人以上の勤労者世帯)

資料：総務省統計局「家計調査」



※ 集計中に四捨五入しているため、内訳の集計と合計が一致しない。



全国家計構造調査からみた消費の特徴

県外での消費支出(購入)の割合は全国1位 教育への消費支出は全国を大きく上回る

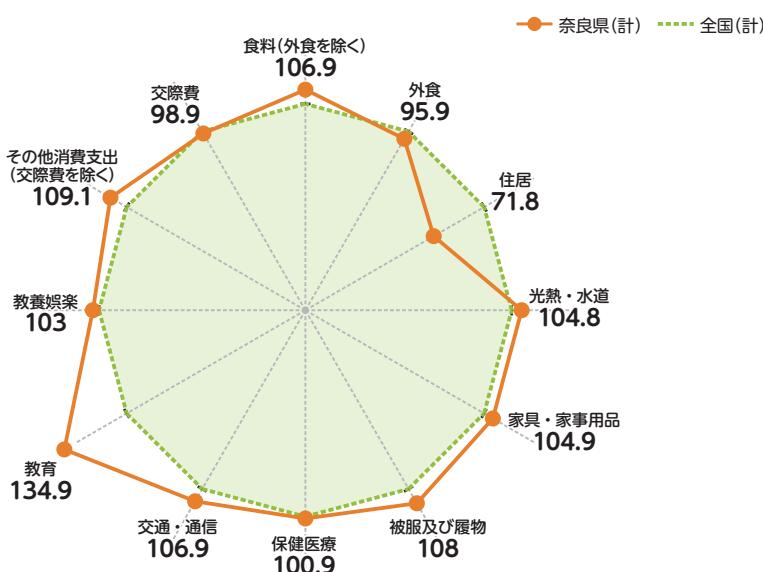
CHECK 他の都道府県での消費支出(購入)の割合は19.1%で、全国1位となっています。また、教育への消費支出は9,816円で、全国(7,279円)を大きく上回っています。

2019年全国家計構造調査によると、総世帯1世帯当たりの消費支出の購入地域別割合を都道府県別にみると、他の都道府県で購入する割合は19.1%で、全国1位となっています。

また、総世帯1世帯当たりの費目別消費支出について、全国を100として比べると、外食、住居、交際費の3費目を除く9費目で全国を上回っています。特に教育は、全国より大きく上回っています。

全国を100とした奈良県の費目別消費支出(総世帯)

資料：総務省統計局「2019年全国家計構造調査」



「他の都道府県」での購入割合(総世帯)

順位	1位	2位	3位	4位	5位
都道府県	奈良県	神奈川県	佐賀県	埼玉県	千葉県
消費支出 「他の都道府県」での購入割合(%)	19.1%	17.2%	17.0%	16.5%	15.1%